

すきっちゃんやまぐち!

Vol.1

今月の顔

LOVE YAMAGUCHI!



ブルーウェイ(株)PDセンター
岡部 泰民 取締役統括部長

山口商工会議所2号議員
住所：山口市宮野下 69
TEL：083-925-1241

おかへ やすたみ

1948年、山口県生まれ。大学卒業後、大阪での別会社勤務を経て、1974年にブルーウェイ(株)に入社し、1995年に現在の取締役統括部長に就任。1999年には山口県繊維加工協同組合専務理事に就任。匠山泊代表。同社は、1949年に創業、年商59億円(グループ合計)、従業員252名、本社・広島県福山市。ジーンズ・カジュアルウェアの企画・生産・販売を手がけ、こだわりの「日本のオリジナル・ジーンズ」MADE IN NIPPONを世界に発信している。

<http://www.blueway.co.jp/>

今月号から始まりました、『すきっちゃんやまぐち 今月の顔』では、毎月、山口商工会議所の議員の方に、愛する山口への想い、経営理念やライフワークをお伺いしたいと思います。

今年、NHK大河ドラマで「龍馬伝」が放送され、幕末・明治維新に注目が集まっています。岡部部長は、今の時代、当時の山口(長州)に学ぶことは多いとお考えのようですね。

幕末から明治維新にかけて、ここ山口市は震源地とも言える、重要な場所であったと同時に、明治維新の原動力となった若い志士達も、山口の人間が中心的存在であったことは間違いありません。日本の歴史を大きく変えたのは、山口あったのと言っても過言ではないでしょう。“維新”、つまり、日本を動かした彼らの功績は、我々山口市民が誇りを持って、後世に伝えていくべきだと考えています。その中で、現在の混沌とした世界情勢、閉塞感が蔓延する経済情勢の中、我々、経済人として、彼らの考え方や行動には、参考にするべき部分が数多くあると考えています。その一つが、「視野の広さ」ではないでしょうか。幕末という日本国内が大きく揺れ動く中、彼らは、維新に向けての行動と同時に、植民地にされまいと海外列強と対等に立ち振る舞っていました。日本国内だけでなく、世界を視野に入れた彼らの行動は、時代背景を考えても驚くべきことだと思います。これは、グローバル化が叫ばれて久しく、道州制も検討される今日、なおさら必要な行動ではないでしょうか。山口だけでなく県外へ、そして日本、世界へ視野を拡げ、事業展開していくことが必要です。我々の大先輩がそうであったように。

私たちの山口が、日本を動かす震源地であった幕末、岡部部長は、もうひとつ誇りに思うことがあるそうですね。

私は企業活動をする上で、“人”が何よりも大切な資産と考えています。特に、これからを支える若い人材を大切に育てることが、企業をより良く発展させる上で、重要なポイントになると考えています。幕末、長州藩の志士を中心に、志を持った若者が日本中を駆け回った。つまり、若者に藩を背負わせる程の責任を持たせ、そして、その行動を理解し実行させた。今では考えられない大人達の寛容な態度は、現代の大人達にも必要な感覚だと思います。歴史には隠れていますが、維新で活躍した志士とともに、彼らを理解した大人も山口の誇りです。若者にチャンスを与える大

山口井筒屋4階にある、匠山泊の販売コーナー。最高の素材、繊維、洗い加工を、最高の職人が最高のテクニックで仕上げた製品が並ぶ。世界が驚いた品を是非、ご確認ください。

匠山泊(しょうざんぱく)

2006年に合同会社として設立。年商約1千万円。山口県内では、山口井筒屋にて取り扱っており、インターネットでの販売も実施している。
<http://www.syouzanpaku.jp/>



人が、今の時代にも必要です。若者は、たとえ失敗しても必ず起き上がります。視野の広い、活気溢れる若者が縦横無尽に駆け回ってこそ、これからのより良い山口市、日本を創り上げていくと信じています。

さて、岡部部長は匠山泊代表の顔もお持ちですが、「MADE IN JAPAN 山口から世界へ」を合言葉に、山口を世界に発信しておられますね。

匠山泊(しょうざんぱく)は、2006年に山口県繊維加工協同組合が立ち上げた合同会社で、素材から製品まで一貫して、純国産でジーンズを製造しています。立ち上げ当時、繊維業界は衰退が著しく、安価な労働力を求めて、各地の工場が中国や東南アジアに移転していました。山口県内も然りで、職人達が行き場をなくす事態にまで発展していました。山口県は、私が所属するブルーウェイを始め、ボブソンやビッグジョンなどの大手ジーンズメーカーの主力工場があり、国内有数のジーンズ生産地です。「優秀な職人を守りたい。ジーンズを作ってきた山口の意地を見せたい。」そんな思いからスタートしました。山口は、デニム製品の中心地であるが故に、衰退の影響を大きく受ける半面、

維新で活躍した志士とともに、
彼らを理解した大人も山口の誇りです。

高い技術をもった職人も大勢いますし、今まで培ってきたノウハウを活かせば、必ず活路は見出せると思っていました。最高の素材に、最高のテクニックを織り交ぜた匠山泊の作品は、ファストファッションが受ける時代において、決して安くはありません。ですが、発売数カ月で完売するシリーズが生まれるなど、大変好評をいただいています。また、日本国内だけではなく、フランスやスペインで行われた国際展示会に出展した際も、驚くほど高い評価をいただいています。「MADE IN JAPANの評価は、我々が思っている以上に高い。」これが、世界に出て感じた感想です。山口からでも、世界を相手に打って出ることは可能なんだと実感しました。人は、大きな事を成そうとする時、悩んで悩んで行動に移せないことが多い。知行合一ではないですが、行動、つまり1歩目を出さなければ何も生まれません。匠山泊の今があるのは、世界を視野に入れた、1歩目を踏み出したからです。皆さんも、是非踏み出して欲しいですね、私たちの山口から大きな1歩目を。